Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門4-1-1　虎ノ門パストラル内
Web　http://www.route-press21st.jp

道の駅「産直品」今、再び脚光

「食の危機」に切り札

「道の駅　八王子滝山」は、東京都で初の道の駅、そして全国で初めての都会型の道の駅です。新鮮な野菜を豊富に取り揃え、みなさまの安心・安全な食生活を応援します。お客様の笑顔が、わたしたちの「駅」をつくります。清潔さと真心のおもてなしをもって、お客様に笑顔で「また来たい」と思っていただける「駅」をめざします。

撮影：新藤健一

東京・八王子　「安心・安全食」支える駅

国内での様々な食品偽装。中国の毒入り餃子。輸入汚染米の食用流出。中国製乳製品などのメラミン混入……。食料自給率が40%に落ち込み輸入に頼らざるを得ない今日「食の安全・安心」にかつてない関心が高まる。そんな世相を反映し、全国各地で「直売所」や「産直」がブームだ。本紙が前回号で実施した読者アンケートも「あなたが道の駅長になったら何がしたいか?」の問いに「直売所の充実」の回答が多数寄せられた。生産者の顔が見える安心感。「道の駅」の直売所は今、機能の充実、拡大に期待が集まる。

直売所や産直は、道の駅だけでなく全国各地で広がりを見せるが、落とし穴も潜む。もし直売所の食品が信頼を損ねたら、安全神話は崩壊する。

人と生きものに優しい農業を提唱するNPO「生物多様性農業支援センター」（東京・町田市）の原耕造理事長は「直売所が地域に根付くには、地域の農産物生産体系と消費者の食生活の転換が必要」と指摘。地域農業が単一品目産地から多品目産地に転換し、食生活も地域の生産体系に連動して変わって初めて、真の「地産地消」が実現する。「これからの農業は環境問題とセット。地元生産者の意識と、消費者の意識改革が欠かせない」と、啓蒙する。

そうした農家の一例として、東京・八王子市の酪農家、磯沼正徳さんの磯沼牧場を訪ねた。自然の中でのんびり育つ牛。その牛乳やヨーグルトはまさに本物の味。「道の駅八王子滝山」。そんな地元産品を中心に「新鮮な食品を揃え安心・安全な食生活を応援する」。東京で初の道の駅。全国初の都会型の駅でもあり、日常的な買い物客も多いだけに、食への関心は高い。

第20号 INDEX

1～3	特集「道の駅　産地直売所」
4/5	日本風景街道「秩父路ルネッサンス」
6	地震列島の課題 東海北陸自動車道全線開通
7	観光庁が発足 新登録道の駅
8/9	道の駅特集「ご当地おもしろ検定」
10	道の駅ファイト なるほどブリッジ
11	話題の道の駅 こんにちは駅長です
12/13	グリーン・ツーリズム 岐阜県高山市　大分県宇佐市
14	読者の声　おもしろ万葉集
15	プレゼント　パズル

16面　「道の駅検定」来春からスタート